

トラックボール付きキーボード 取扱説明書

SKB-TR02BK



対応機種

Windows搭載(DOS/V)パソコン
(ただし、USBポートを持ち、パソコン本体メーカーがUSBポートの動作を保証している機種)
※Windows日本語版のみサポート

対応OS

Windows 7・Vista・XP

最初に
ご確認
ください。

セット
内容

- トラックボール付きキーボード…………… 1台
- 取扱説明書(本書) …………… 1部

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お手元に置き、いつでも確認できる様にしておいてください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。
本書に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

はじめに

このたびは、トラックボール付きキーボード「SKB-TR02BK」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本製品は、USB仕様Ver.1.1、USB HIDクラスVer.1.1に準拠したキーボードです。
本製品は、OSにWindowsをインストールし、USBポートを持つDOS/Vパソコンでお使いいただけます。
※本製品をご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。

- 本書の内容を許可なく転載することは禁じられています。
- 本書の内容についてのご質問やお気づきの点がございましたら、お買い求めの販売店または弊社までご連絡ください。
- 本書の内容については予告なしに変更することがございます。
- 本書に記載しているソフトウェアの画面やアイコンなどは実際のもものと異なることがあります。

⚠️ 取扱い上のご注意

- 本製品は電気で作動していますので、発火する危険があります。万一煙が出たり異臭がした場合は、本製品及び接続しているコンピュータや機器の電源を切り、お買い上げの販売店または、弊社までご連絡ください。
- 雷がなっているときに、本製品やケーブルに触れないでください。
▲落雷により感電する恐れがあります。
- 本製品のカバーを開けたり、分解したりしないでください。
▲故障や感電の原因となることがあります。
- 濡れた手で本製品やケーブルに触らないでください。
▲本製品がパソコンに接続されているとき、感電する恐れがあります。
- 本製品内部に液体、金属などの異物が入らないようにしてください。
▲感電や火災、故障の原因となることがあります。
- 本製品に強い振動や衝撃を与えないでください。
▲故障・破損などの原因となることがあります。
- 本製品を水分や湿気の多い場所、直射日光の当たる場所、ほこりや湯煙などの多い場所、車中や暖房器具のそばなどの高温となる場所に設置したり、保管したりしないでください。
▲故障・感電などの原因となることがあります。
- 本製品を重ねて設置したり、本製品の上に重いものを置いたりしないでください。
▲火災や故障の原因となることがあります。
- 本製品は不安定な場所に設置したり、保管したりしないでください。
▲落下により故障・破損の原因となることがあります。
- 本製品のケーブルを抜き差しするときは、必ずコネクタ部分を持ち、無理な力を加えないでください。
▲故障・破損などの原因となることがあります。
- 本製品のケーブル、接続する機器のケーブルは、家具で踏んだり、扉で挟んだりしないでください。またこれらのケーブルを引っ張ったり折り曲げたりしないでください。
▲火災や故障の原因となることがあります。
- 本製品のお手入れをする場合には、ベンジンやシンナーなどの揮発性有機溶剤が含まれているものは使用しないでください。
▲塗装を痛めたり、故障の原因になることがあります。乾いた柔らかい布で乾拭きしてください。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。
- 本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての保証はいたしかねます。
▲定期的にバックアップを取るなどの対策をあらかじめ行ってください。
- 本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じて弊社はいかなる責任も負いかねます。
- 本製品は日本国内用に作られております。日本国外では使用できません。

快適な使用方法

- 手首はまっすぐにのばし、指は少し曲げた状態にする。
- 手はキーボード上で肘に対して少なくとも90°になるようにする。
- 肩に力を入れたり、肩をすくめたりせず、余分な力を入れない。
- 15分間タイプする度に、1~2分休憩をとってください。
- 腕や肘を休めるため、手置き台(ハンドレスト)や肘付椅子の併用をしてください。
- 画面を見るときは、心持ち視線が下がるように椅子の高さを調節してください。
- 窓より少なくとも2mは離れて、自然光の入ってくる場所で、画面のコントラストを調節してください。画面にはCRTフィルタを装着することを推奨します。
- キーボード底面には、キーボードの角度(高さ)が調節できるようにツメが2カ所についています。お好みによって入力しやすい角度を選んでください。

⚠️ **注意** スタンドを立てるときには、必ず両方のスタンドを立ててください。スタンドは完全に立てるか、全く立てないかのどちらかにしてください。中途半端な状態では使用しないでください。

特長



●コンパクトキーボードに光学式トラックボール機能内蔵で、リビングパソコン操作に最適です。

●うす型メンブレン採用。

ラバードームでキートップを支える構造です。普通のキーボードより薄型でストロークが短くなっています。確実な押し心地はそのまま、軽いキータッチでご使用いただけます。

●キーボードの角度調節用スタンド付き。

キーボードの底面には、キーボードの角度(高さ)が調節できるようにチルトスタンド(ツメ)が2カ所についています。お好みによって入力しやすいように、どちらかのポジションを選んでください。



●テンキー無しのコンパクトタイプで机の上でも邪魔になりません。さらにマウスが不要なので、限られたスペースでの使用に便利です。



キーボード上の青で印刷されている文字「[Home]」「[End]」「[Page Up]」「[Page Down]」「[NumLk]」「[ScrLk]」のキーは「Fn」キーと同時に押すことにより動作します。

斜線で囲まれた青文字は「NumLk」をONにすることで入力できます。

ボールを動かすと、カーソル機能が動きます。

- 注意**
- ※パソコンの機種・BIOSによっては、Windowsが起動する前のコマンド(BIOSの設定・SCSIボードの設定など)はできません。
 - ※パソコンの機種・BIOSによっては、このキーボードを初めて使用する際、起動前にPS/2マウスかPS/2キーボードをパソコン本体に接続しておく必要があります。
 - ※パソコンの機種・BIOSによっては、サスペンドモード(スリープモード・スタンバイモード)後にUSBキーボードを認識しない場合があります。このときは、接続しているUSBキーボードをいったん引き抜いてからもう一度接続し直してください。
 - ※ノートパソコンや各メーカー純正キーボードのファンクションキーにあらかじめ割り付けられている特殊機能(画面の明度調整やボリュームのアップダウンなど)は、このキーボードからは操作できません。

キーボードの接続

Windows 7・Vistaの場合

①画面左下のWindowsマークをクリックし「コンピュータ」を右クリックし「プロパティ(R)」をクリックしてください。下の画面が表示されます。画面左の「デバイスマネージャ(M)」をクリックしてください。

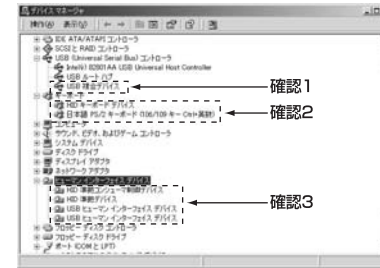


②「ユーザーアカウント制御、続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されます。「続行(C)」をクリックしてください。



キーボードの接続(続き)

Windows XPの場合



※すべてのWindowsのデバイスマネージャ上のマウスに「HID互換マウス」が追加されます。

ハードウェア仕様

<キーボード>

- キー数・キーピッチ:87キー・19mm
- インターフェース:USB(Aタイプコネクタ)
- キーストローク・動作力:3.5±0.5mm・55±15g
- 消費電流:最大100mA
- サイズ:W291×D170×H29mm
- 重量:約460g
- ケーブル長:1.5m
- 付属品:取扱説明書
- 対応機種:Windows搭載(DOS/V)パソコン
- 対応OS:Windows 7・Vista・XP

<トラックボール>

- 読取り方式:光学センサー方式
- 分解能:600count/inch

最新の情報はWEBサイトで!!
<http://www.sanwa.co.jp/>

- サポート情報
- ドライバのダウンロード
- よくある質問(Q&A)
- 各種対応表

など、最新情報を随時更新しています。

ご質問、ご不明な点がございましたら、ぜひ一度、弊社WEBサイトをご覧ください。



サンワサプライ株式会社

2011.2現在

岡山サブライセンター / 〒700-0825 岡山県岡山市北区田町1-10-1 TEL.086-223-3311 FAX.086-223-5123
 東京サブライセンター / 〒140-8566 東京都品川区南大井6-5-8 TEL.03-5763-0011 FAX.03-5763-0033
 札幌営業所 / 〒060-0807 札幌市北区北7条西5丁目ストークマンション札幌 TEL.011-611-3450 FAX.011-716-8990
 仙台営業所 / 〒983-0851 仙台市宮城野区榴岡1-6-3 宝栄仙台ビル TEL.022-257-4638 FAX.022-257-4633
 名古屋営業所 / 〒453-0015 名古屋市中村区椿町16-7 カジャヤビル TEL.052-453-2031 FAX.052-453-2033
 大阪営業所 / 〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-1-45 新大阪八千代ビル TEL.06-6395-5310 FAX.06-6395-5315
 福岡営業所 / 〒812-0012 福岡市博多区博多駅中央街8-20 博多相互ビル TEL.092-471-6721 FAX.092-471-8078